

50周年記念演奏会

コンチェルティーノ・ディ・キョウト

Concertino di Kyoto 50th Anniversary



2008 **10|11** 日 19時開演
京都コンサートホール・大ホール

主催：(社)才能教育研究会京都支部 後援：(社)才能教育研究会
マネジメント：エラート音楽事務所

Shinichi Suzuki
Memorial Year
10th&
2008-2009
110th

回想



新井 覚

長いようで短いような50年間でした。弦楽合奏に憧れ、私が指導をした生徒で合奏団を作りたいと思っていた51年前、イタリアに「イムジチ合奏団」が出来て、フェリックス・アーヨの「四季」のレコードが発売され、それを聴いた私に衝撃が走り、これぞ私の目指していたものと目標が定まりました。先ず才能教育研究会京都支部に私の友人、故野村武二君を招き、チェロ科を作り、井手章夫先生のご協力を得て弦楽合奏団を結成しました。京都大学文学部イタリア文学の故野上素一教授に命名して頂いた「コンチェルティーノ・ディ・キョウト」とは京都の小さな合奏団という意味で、この小さいには子供達という意味も含まれております。

1958年祇園会館での第1回演奏会には15人程のメンバーの内中学生が2人、他は皆小学生でした。年1回の演奏会でこのメンバー達は随分長続きましたが、その後は平均5～6年で入れ替わるのでこれまでに100人近いメンバーが出演しております。これまでにフェリックス・アーヨを初めとして何人かのプロの演奏家、指揮者に多くのことを教えて頂き少しずつ成長してきて今日に至りました。

今夜の記念演奏会には多数のOB・OGが応援に駆け付けてくれてコンチェルトグロッソ・ディ・キョウトになります。「継続は力なり」の言葉通り合奏の土台は出来上がっておりますので、私は50年を区切りに引退し、将来メンバーになる生徒を育てることに専念して後進に道を譲りますが、コンチェルティーノ・ディ・キョウトは不滅です。

ごあいさつ



井手章夫

80を越え、静かに人生の来し方を振り返る年になりました。そんな私が今日、もう一度舞台上に立ってバッハの棒を振ることになりました。感慨一入です。コンチェルティーノを始めた50年前は、外は安保・勤評闘争、内は理数超重視へ教育課程の大改訂。理科の教師である私にとって大変な時代でした。こんな頃に本職とは場違いの音楽に情熱を注いだのですが、今、改めて考えるとこの事が教師である私にとって活力の泉であり「教室で教える」ことに大きく役立っていたことに驚きを覚えます。そしてこの事は、今日の教育の場にはっきり言い残しておきたいと思います。「音楽なんぞにうつつを抜かしている暇があれば本業に力を入れなさい」と叱られる時代でなくて幸せでした。

本日はご来場下さり有難うございました。私にとって大事なものでしたコンチェルティーノを今後共よろしくご支援くださいますようお願い申し上げます。

御協賛者様

(株)文京楽器
東京都文京区小石川2-1-11
03-3811-2084

(株)伊藤楽器
東京都調布市布田1-48-2サンメイツカモシタ103号
042-480-1906

ジミー&カンパニー
東京都豊島区西池袋2-39-11号英興ビル6F
03-5957-1633

くさたけき
京都市上京区河原町丸太町下る伊勢屋町406マツヨビル4F
075-212-3314

プログラム

J.S.バッハ：
J.S. Bach：

ブランデンブルク協奏曲 第3番 ト長調 BWV.1048
Brandenburgische Konzert No.3 G Dur BWV.1048

- I. Allegro moderato
- II. Adagio, Allegro

指揮 井手章夫

F.J.ハイドン：
F.J. Haydn：

チェロ協奏曲 ニ長調 作品101
Konzert für Violoncello und Orchester op.101 VIIb-2

- I. Allegro moderato
- II. Adagio
- III. Allegro

指揮 新井 覚
チェロ 林 峰男

A.ドボルザーク：
A. Dvořák：

弦楽セレナーデ ホ長調 作品22
Serenáda E Dur op.22

- I. Moderato
- II. Valzer
- III. Vivace
- IV. Larghetto
- V. Allegro vivace

指揮 江村孝哉

プロフィール

◆コンチェルティノー・ディ・キョウト

才能教育研究会ヴァイオリン科指導者・新井覚、チェロ科指導者・故野村武二、指揮者の井手章夫を中心に1957年頃より才能教育研究会京都支部の上級生による弦楽合奏団として組織され、まだ京都会館も無かった1959年11月20日、祇園会館にて第1回演奏会を開催しました。

これまでの定期演奏会等での共演者は以下の通りです。(最初に共演した年号のみ記しています)

1963年 齊田出氏(チェロ)	1982年 今村れい子氏(コントラバス)	古川五日氏(ピアノ)	
1965年 吉田雅夫氏(フルート)	1984年 松山玲奈氏(ピアノ)	古谷誠一氏(指揮)	磯部省吾氏(指揮)
1966年 丸山盛三氏(オーボエ)	1987年 串田遼造氏(コントラバス)		
1967年 河野昌彦氏(ヴィオラ)	1988年 金 昌国氏(フルート)	田中修二氏(ピアノ)	
1970年 辛島輝治氏(ピアノ)	1989年 見取香奈氏(オーボエ)		
1972年 高橋利夫氏(フルート)	1994年 田中修二氏(ピアノ)		
1973年 ルイ・モイーズ氏(フルート)	1996年 小林武史氏(ヴァイオリン)		
1978年 林 峰男氏(チェロ)	堤 俊作氏(指揮)	1998年 篠崎友美氏(ヴィオラ)	
1979年 中西祥之氏(ファゴット)	2001年 宮前文明氏(フルート)		
1980年 モーリス・ジャンドロン氏(チェロ)	山田恵美子氏(フルート)	2002年 市原満氏(オーボエ)	
1981年 フェリックス・アーヨ氏(ヴァイオリン)	2004年 結城貴弘氏(チェロ)		

コンチェルティノー出身のOBからは、ラミー弦楽四重奏団、アンジュ弦楽四重奏団、一音寺室内合奏団等が生まれています。

メンバー

◎ヴァイオリン

井狩 苑子	石田 悠	磯貝 碧里	上田 彩希	妹尾 俊吾	橋本 莉沙	福永 祥子	渡辺絵美理
山本 佳奈	井川恵美子	石岡 泉	糸井佐知子	井上 史	上田 真希	宇田美代子	内田 都加
円城めぐ美	大下 瑛耶	大下美知代	沖 忠洋	笠木 愛	壁瀬 智泉	黒田 裕理	上坂 則子
桜井愛由美	高木 玲	田中 信介	中村 亜季	奈倉 民子	西村 明男	植原亜紀子	松川 堯彦
村上佐知子	安居佑季子	結城三紀子					

◎ヴィオラ

江村美由紀	佐々木めぐみ	仲佐 悦子	佐々木弘明	田中 春美	田原 明子	成宮 憲一	松村裕美子
-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

◎チェロ

森田 健二	壁瀬 宥雅	米原 徹	柳田 耕治	小棚木 優*	筒井 一喜*
-------	-------	------	-------	--------	--------

◎コントラバス

江刺 豊*	吉田 有音*
-------	--------

◎ホルン

中島 一成*	細見由紀子*
--------	--------

◎オーボエ

廣瀬 裕美*	白井 亜紀*
--------	--------

◎チェンバロ

永田 悦子

*客演

◆林 峰男 [チェロ]

幼少よりチェロを才能教育で学ぶ。桐朋学園にて斎藤秀雄氏に師事。その後、ジュネーヴ音楽院を第1位で卒業。翌年スイス・ローザンヌ室内管弦楽団のソリストとしてヨーロッパにおいてデビューを飾った。1975年、ベオグラード国際チェロ・コンクール第1位に輝く。1976年にはワシントンD.C.とニューヨークのカーネギーホールでリサイタルを開き、アメリカ・デビューを果たした。なかんずく、カーネギーホールのリサイタルは、ニューヨーク・タイムズが絶賛した。また翌年にはスペインで開催された「カザルス生誕百周年記念コンサート」に招待され、日本を代表するチェロ奏者として高く認知された。

1976年以来、スイス／ロマンド管弦楽団、ザグレブ・フィルなど数々のオーケストラと共演する一方、室内楽、リサイタルなど数多くの演奏会をスイスを本拠地としながら世界各国で開いている。

この間、1985年にはバッハ生誕300年を記念して「無伴奏チェロ組曲全6曲」を一夜で演奏するという画期的な演奏会企画で、全国17カ所・日本縦断コンサートを行い脚光を浴びた。

1995年には、カザルスホールにおいて「デビュー20周年4日連続演奏会」を開催、ピアノの園田高弘氏との共演をはじめ、無伴奏リサイタル、オーケストラとの共演、チェロ・アンサンブルという多才な内容は、朝日新聞でも大きく取り上げられ、連日ホールを満席にした。今後ますますの活躍が期待される日本の代表的なチェロ奏者の一人である。

現在、国際スキメソード音楽院教授を務めるなど、後進の指導にも力を注いでいる。

曲目解説

バッハ：ブランデンブルク協奏曲 第3番 ト長調 BWV.1048

バッハは、教会音楽家として「ヨハネ受難曲」「マタイ受難曲」や、多くのオラトリオ、オルガン曲などを作曲し、ライブツィヒで生涯を全うしたが、その前に東部ドイツのケーテンという町の宮廷にしばらく仕えて、宮廷行事や祝祭、あるいは王侯の娯楽のための音楽を作曲し、みずからも演奏に参加していた。このときにはソナタや独奏曲などのほかに、さまざまな単独の楽器、また複数の楽器のいろいろな組み合わせのための膨大な協奏曲が作曲されたものと思われるが、それらの楽譜のほとんどは散逸してしまっている。残っている中から聴いていただくブランデンブルク協奏曲(全6曲)。これは、バッハがこの宮廷を通じて「ブランデンブルク辺境伯」という貴族と知りあい、「おみやげ」または「就職活動用」として、自分の作品からおいしいところをみつくろってまとめ上げ、浄書して、セットとしてお送りした、というもの。貰った辺境伯の宮廷にはしかしこれを演奏できる楽団はなく、楽譜は綺麗なままでずっと保存されていたため生き残っていた。この曲の2楽章は2つの和音だけが書かれており、チェンバロやヴァイオリンの即興演奏を入れていたと考えられているが、今夜は指揮者の考察により、トリオソナタの緩序楽章を挿入しています。

ハイドン：チェロ協奏曲 ニ長調 作品101

ハイドンが楽長を務めていたエステルハージ家の宮廷楽団の第1チェロ奏者のアントン・クラフトのために書かれた作品。長い間、この曲はクラフトが作曲した作品とみなされていたが、1954年に自筆譜が発見され、ハイドンの真作であることが判明した。あまりに高度な技法が取り込まれているので「怪しい」と思われていた。現在では、ハイドンの先進性を示す事例といわれている(ただし、クラフトの助言は取り込まれているようである)。現在では、ポツケリーニのチェロ協奏曲と並んで、古典派チェロ協奏曲の2大スタンダードとなっている。今夜は今世紀初めにベルギー人作曲家ゲヴァルトにより編曲された版で演奏します。

ドボルザーク：弦楽セレナーデ ホ長調 作品22

セレナーデは「小夜曲」とも呼ばれているが、もともとは夕べに窓辺で恋人に歌う愛の歌のことで、17世紀～18世紀には、屋外で演奏される音楽の一般的な名称だったが、19世紀に入ると屋外という意味合いが薄れ、セレナーデは交響曲に比べて、もっと気楽に楽しむことを重視した合奏曲の名称となった。1875年5月に10日間あまりで作曲されていて、オーストリア政府からの奨学金が決まり、2年前に結婚した妻との安定した生活が保障された幸福な時期の作品で穏やかな愛情に満ちた作品となっている。音楽以外の趣味は鉄道で、友人に「本物の機関車が手に入るなら自分が今まで作ったすべての曲と取り換えてもいいのに…」と言ってみたり、いつも乗る列車の走行音がいつもと微妙に違うように聞こえたため、ドヴォルザークが車掌にその旨を伝えたところ、車両から故障箇所が見つかったり。彼が鉄道ファンであることと、鋭い聴力を持つことが列車事故を防いだのだった。

(森田健二)

🎶 コンチェルティーノ・ディ・キョウト演奏歴 🎶

1958年11月23日 京都支部秋季演奏会出演 指揮・井手章夫（家政学園講堂）
 1959年 8月 1日 土曜コンサート ジュニアオーケストラの夕出演 指揮・井手章夫（円山音楽堂）
 1959年11月20日 第1回演奏会 指揮・井手章夫（祇園会館）
 1960年 4月10日 才能教育関西地区合同演奏会出演（相愛学園講堂）
 1960年11月19日 第2回演奏会 指揮・井手章夫（京都会館第2ホール）
 1961年11月18日 第3回演奏会 指揮・井手章夫（京都会館第2ホール）
 1962年 6月10日 京都支部春期発表演奏会出演 指揮・井手章夫（華頂会館）
 1962年11月 7日 第4回演奏会 指揮・井手章夫（京都会館第2ホール）
 1963年 8月 3日 松本夏期学校コンサート出演 指揮・井手章夫（松本・本郷体育館）
 1963年11月23日 第5回演奏会 チェロ独奏・斉田 出／指揮・井手章夫（大谷ホール）
 1965年 1月 7日 第6回演奏会 フルート独奏・吉田雅夫／指揮・井手章夫（京都会館第2ホール）
 1965年 5月13日 松本音楽院合奏団とのジョイントコンサート 指揮・井手章夫（大谷ホール）
 1966年 1月 7日 第7回演奏会 指揮・井手章夫（京都会館第2ホール）
 1966年11月23日 第8回演奏会 オーボエ独奏・丸山盛三／指揮・井手章夫（勤労会館）
 1967年11月 8日 第9回演奏会 ヴィオラ独奏・河野昌彦／指揮・井手章夫（大谷ホール）
 1968年 8月 5日 松本夏期学校コンサート出演 指揮・井手章夫（松本市民会館）
 1968年12月 1日 第10回演奏会 オーボエ独奏・丸山盛三／指揮・井手章夫（大谷ホール）
 1969年 4月 6日 聖イエス会賛美大会出演 指揮・井手章夫（聖イエス会嵯峨野教会）
 1969年 8月 1日 松本夏期学校コンサート出演 指揮・井手章夫（松本市民会館）
 1969年12月24日 クリスマスコンサート 指揮・井手章夫（ピアートル教会）
 1970年 1月11日 第11回演奏会 指揮・井手章夫（大谷ホール）
 1970年 1月18日 特別演奏会 指揮・井手章夫（松本・才能教育会館ホール）
 1970年 8月 1日 松本夏期学校コンサート出演 指揮・井手章夫（松本市民会館）
 1970年12月29日 第12回演奏会 ピアノ独奏・辛島輝治／指揮・井手章夫（大谷ホール）
 1971年 7月 3日 京都支部創立20周年記念 講演会と演奏会出演（京都会館第1ホール）
 1971年11月14日 第13回演奏会 指揮・井手章夫（大谷ホール）
 1972年11月19日 第14回演奏会 フルート独奏・高橋利夫／指揮・井手章夫（大谷ホール）
 1973年 5月24日 全国指導者研究大会コンサート出演 指揮・新井 覚（シルクホール）
 1973年11月18日 第15回演奏会 フルート独奏・ルイ・モイーズ／フルートと指揮・高橋利夫（大谷ホール）
 1975年 2月 2日 第16回演奏会 ピアノ独奏・辛島輝治／指揮・高橋利夫（大谷ホール）
 1975年11月 9日 第17回演奏会 フルートと指揮・高橋利夫（大谷ホール）
 1976年10月10日 特別演奏会 フルート独奏・高橋利夫／指揮・井手章夫（松本・才能教育会館ホール）
 1976年11月20日 第18回演奏会 フルート独奏・高橋利夫／指揮・井手章夫（大谷ホール）
 1977年11月27日 第19回演奏会 指揮・井手章夫（シルクホール）
 1978年 6月25日 特別演奏会 チェロ独奏・林 峰男／指揮・堤 俊作（シルクホール）
 1978年 7月30日 特別演奏会 チェロ独奏・林 峰男／指揮・堤 俊作（松本市民会館）
 1978年11月12日 第20回演奏会 指揮・堤 俊作（大谷ホール）
 1979年 5月20日 特別演奏会 チェロ独奏・林 峰男／指揮・堤 俊作（東京・石橋メモリアルホール）
 1979年12月22日 第21回演奏会 ファゴット独奏・中西祥之／指揮・堤 俊作（大谷ホール）
 1980年 5月26日 特別演奏会 チェロと指揮・モーリス・ジャンドロン（大谷ホール）
 1980年 9月22日 第22回演奏会 フルート独奏・山田恵美子／指揮・堤 俊作（西陣ホール）
 1981年10月15日 第23回演奏会 ヴァイオリン独奏・フェリックス・アーヨ／チェロ独奏・林 峰男／指揮・古谷誠一（大谷ホール）
 1982年10月23日 第24回演奏会 フルート独奏・高橋利夫／チェンバロ独奏・古川五巳
 コントラバス独奏・今村れい子／指揮・堤 俊作（京都こども文化会館）
 1984年 2月 5日 第25回演奏会 ピアノ独奏・松山玲奈／指揮・古谷誠一（京都こども文化会館）
 1984年11月 3日 第26回演奏会 指揮・磯部省吾（西陣ホール）
 1985年11月16日 第27回演奏会 チェンバロ独奏・永山ゆり／指揮・新井 覚（京都こども文化会館）
 1986年11月15日 第28回演奏会 チェロ独奏・林 峰男／指揮・新井 覚
 （茨木室内合奏団とのジョイントコンサート）（吹田メイシアター中ホール）

1986年11月22日 第28回演奏会 チェロ独奏・林 峰男／指揮・新井 覚
 （茨木室内合奏団とのジョイントコンサート）（京都アバンティールホール）
 1987年 3月26日 スズキメソッドピアノ科卒業式出演 指揮・新井 覚（大坂厚生年金会館大ホール）
 1987年10月28日 第29回演奏会 コントラバス独奏・串田遼造 指揮・新井 覚（シルクホール）
 1988年11月19日 第30回演奏会 ピアノ独奏・田中修二／フルート独奏・金 昌国／指揮・新井 覚、井手章夫（京都アバンティールホール）
 1989年10月10日 第31回演奏会 オーボエ独奏・見取香奈／指揮・新井 覚（京都府立文化芸術会館）
 1989年12月 3日 国際音楽短期大学設立協力コンサート オーボエ独奏・見取香奈／指揮・新井 覚（松本・ハーモニーホール）
 1990年 4月 2日 平成元年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・井手章夫（アバンティールホール）
 1990年10月13日 第32回演奏会 指揮・新井 覚（京都府立文化芸術会館）
 1991年 4月29日 平成2年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・江村孝哉、松村裕美子（長岡京記念文化ホール）
 1991年11月 4日 第33回演奏会 指揮・新井 覚（京都府立文化芸術会館）
 1991年11月14日 '91京都愛護 クラシックコンサートの集い 指揮・新井 覚（京都市社会教育総合センター大ホール）
 1992年 5月 5日 平成3年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・新井 覚（長岡京記念文化ホール）
 1992年11月 7日 第34回演奏会 指揮・新井 覚（東部文化会館）
 1993年 4月11日 平成4年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・新井 覚（長岡京記念文化ホール）
 1993年11月20日 第35回演奏会 指揮・新井 覚（京都西文化会館ウエスティール）
 1994年 4月10日 平成5年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・江村孝哉（長岡京記念文化ホール）
 1994年 4月17日 特別演奏会 ヴァイオリン独奏・フェリックス・アーヨ／指揮・新井 覚（京都会館第2ホール）
 1994年10月23日 第36回演奏会 ピアノ独奏・田中修二／指揮・新井 覚（京都こども文化会館）
 1995年 4月 9日 平成6年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・新井 覚、江村孝哉（長岡京記念文化ホール）
 1996年 1月13日 第37回演奏会 指揮・新井 覚（京都コンサートホール小ホール）
 1996年 4月28日 平成7年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・新井 覚、江村孝哉（京都こども文化会館）
 1996年12月22日 第38回演奏会 ヴァイオリン独奏・小林武史／指揮・新井 覚（京都府立文化芸術会館）
 1997年 4月12日 平成9年度京都支部卒業演奏会出演（京都府立文化芸術会館）
 1997年11月23日 第39回演奏会 指揮・新井 覚（東部文化会館）
 1998年 5月16日 平成9年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・江村孝哉（京都こども文化会館）
 1998年10月 3日 第40回演奏会 ヴィオラ独奏・篠崎友美／指揮・新井 覚（京都府立文化芸術会館）
 1999年 4月18日 平成10年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・江村孝哉
 1999年11月21日 第41回演奏会 指揮・新井 覚（京都市東部文化会館）
 2000年 4月 8日 平成11年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・江村孝哉（京都市東部文化会館）
 2000年11月19日 第42回演奏会 指揮・新井 覚（京都市東部文化会館）
 2001年 4月 8日 平成12年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・江村孝哉（京都市北文化会館）
 2001年11月24日 第43回演奏会 指揮・新井 覚（京都市東部文化会館）
 2002年 4月14日 平成13年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・江村孝哉（右京ふれあい会館）
 2002年11月24日 第44回演奏会 オーボエ独奏・市原 満／指揮・新井 覚（京都市東部文化会館）
 2003年 4月 5日 平成14年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・江村孝哉（京都市北文化会館）
 2003年11月23日 第45回記念演奏会 ヴァイオリン独奏・フェリックス・アーヨ／指揮・新井 覚、江村孝哉
 （京都コンサートホール・大ホール）
 2004年 4月17日 平成15年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・江村孝哉（京都市北文化会館）
 2004年11月20日 第46回演奏会 チェロ独奏・結城貴弘／指揮・新井 覚、江村孝哉（アルティ）
 2005年 4月30日 平成16年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・江村孝哉（京都市北文化会館）
 2005年11月27日 第47回演奏会 指揮・新井 覚、江村孝哉（京都コンサートホール）
 2006年 3月25日 平成17年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・江村孝哉（京都市北文化会館）
 2006年 9月17日 平成18年度京都支部合奏発表会出演 指揮・江村孝哉（アルティ）
 2006年11月19日 第48回演奏会 指揮・新井 覚、江村孝哉（京都コンサートホール）
 2007年 4月15日 平成18年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・江村孝哉（アルティ）
 2007年 9月15日 平成19年度京都支部合奏発表会出演 指揮・江村孝哉（アルティ）
 2007年11月18日 第49回演奏会 指揮・新井 覚、江村孝哉（京都コンサートホール）
 2008年 4月20日 平成19年度京都支部卒業演奏会出演 指揮・江村孝哉（府立文化芸術会館）
 2008年 9月14日 平成20年度京都支部合奏発表会出演 指揮・江村孝哉（府立文化芸術会館）
 2008年10月11日 第50回記念演奏会 チェロ独奏・林 峰男／指揮・井手章夫、新井 覚、江村孝哉（京都コンサートホール・大ホール）



著名な音楽家たちによってラルジュは支えられています。

株式会社 ラルジュ

弦楽器 販売・修理・調整

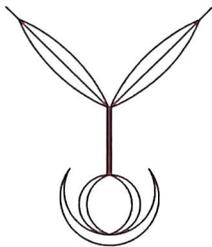
音楽療法

音楽プロデュース

完全予約制 TEL: 03-5784-2626

<http://www.large.co.jp>

Youthful Natural Thought



有限会社

総合計画ユース建築事務所

〒602-0873

京都市上京区河原町通り丸太町下ル伊勢屋町406 マツビル4F

PHONE : (075) 222-1400 (075) 222-2211

F A X : (075) 211-3597

E-mail : younath@hi-ho.ne.jp